

## 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ生理学特殊研究A	1年次春学期 (1セメスター)	講義 ※演習含む	2	松本 孝朗、梅村 義久 荒牧 勇、北川 薫
<b>授業概要</b>				
運動生理学関連の各科目を基盤とし、各担当者の専門とする研究分野について、より高度な専門的知識、研究手法について演習形式で学習する。環境生理学(松本担当)、スポーツ脳科学(荒牧担当)、運動と骨代謝(梅村担当)、身体組成(北川担当)。				
<b>授業目標(到達目標)</b>				
スポーツ生理学研究(A～C)、スポーツ脳科学研究、スポーツ栄養学研究、温熱生理学研究などの各科目を基盤とし、スポーツ生理学のさらに高度な専門的知識、研究手法を学び、自立した研究を行う能力や高度の専門的業務に必要な能力を身に付ける。				
<b>成績評価方法・基準</b>				
授業への取組み状況、レポート等の提出状況を総合的に評価する。				
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>				
[テキスト] 使用しない [参考文献] 適宜、紹介する				
<b>授業計画</b>				
	項目・内容			担当
1	ガイダンス			松本、梅村 荒牧、北川
2	環境生理学 高地・低酸素環境①(量的に1コマでは扱えないため、3回に分けて取り扱う)			松本孝朗
3	環境生理学 高地・低酸素環境②			松本孝朗
4	環境生理学 高地・低酸素環境②			松本孝朗
5	環境生理学 宇宙・微小重力環境			松本孝朗
6	環境生理学 低温環境			松本孝朗
7	環境生理学 水中環境			松本孝朗
8	環境生理学 海外環境			松本孝朗
9	運動と骨(骨代謝)			梅村義久
10	運動と骨(メカニカルストレスと骨)			梅村義久
11	運動と骨(脱トレーニングと骨)			梅村義久
12	運動と骨(アスリートの骨密度)			梅村義久
13	運動と骨(運動様式)			梅村義久
14	運動と骨(骨代謝マーカー)			梅村義久
15	運動と骨(栄養と骨代謝)			梅村義久
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>				
運動生理学の専門家として、自立できるよう、努力を積み重ねて行きましょう。				